



あなたと議会を結ぶ

議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会
 ●編集：議会広報委員会
 ●発行日：令和5年7月10日
 ●〒891-9295
 鹿児島県大島郡知名町知名307
 TEL 0997-93-3119



第64回 奄美群島市町村議会議員大会(あしびの郷・ちな)



知名町議会改革推進会議(政策サイクル)

主な内容

◆ 奄美群島市町村議会議員大会	2
◆ 行政視察(宮古島)	3
◆ 政策サイクル推進地方議会フォーラム	4
◆ 6月定例会一般質問要旨	5
◆ 一般質問	6~14
◆ 令和5年 第2回知名町議会定例会議決結果	15
◆ 議会の動き・編集後記	16



ちなポー
知名町マスコットキャラクター

奄美群島市町村議会議員大会を終えて

奄美群島日本復帰70周年記念・第64回奄美群島市町村議会議員大会が5月11日あしびの郷ちなで盛大に開催されました。

議員大会では、各地区提出議題、郡議長会提出議題、大会宣言、大会決議を全会一致で採択。郡内の課題を国政と県政に届ける事ができました。議員大会を無事に終える事ができて安堵しています。協力をいただいた関係各位の皆様には心から感謝申し上げ、課題解決に向けて全力で取り組んでいきます。

知名町議会議長 福井 源乃介



奄美群島議員大会が、5月11日に知名町あしびの郷・ちなでありました。知名町での開催は12年ぶりに12市町村の議員や首長など184人が出席しました。議員大会では自治功労者の表彰に続いて、提出された議題7件を提出議題として決議しました。和泊町、知名町、与論町での提出議題は、サトウキビ交付金単価の改定及び制度の拡充とキビ農家の安定について提出議題としました。2024年度以降の奄美群島振興特別措置法の延長・拡充など決議しました。

議会報編集委員会 委員長 窪田 仁



第64回 奄美群島市町村議会議員大会提出議題として さとうきび交付金単価の改定及び制度の拡充と さとうきび農家の経営安定を

提出 和泊町議会・知名町議会・与論町議会

提案者 知名町議会総務文教常任委員長 根釜昭一郎

奄美群島のさとうきび栽培は、1609年に大和村出身の直川智（すなお かわち）氏が東南アジア（支那）から苗を懐に忍ばせて持ち帰り、増殖を繰り返して発展し、現在では換金作物・基幹作物として種子島から沖縄八重山諸島まで幅広く生産されています。平成になるとこれまで重労働であった植え付け・肥培管理・収穫作業が機械化一貫体系の確立により解消され、作業の効率化や省力化が図られてきました。

また、平成19年からは現在の品質取引となり、生産農家の安定経営が図られてきましたが、さとうきび交付金単価は当初トンあたり16,320円からスタートしましたが、令和5年産は16,860円でこの15年間でわずか540円しか引き上げられていません。これまでの燃油・肥料高騰対策や各種さとうきび振興対策には心から感謝申し上げますが、今日の燃油や肥料、生産資材、人件費等の高騰、作業委託料などの経費の増大、さとうきび農家の収益率が年々厳しい状況の中で生産者は日々努力していますが、どんなに努力しても限度はあります。

また、食料安全保障政策の観点からも国産糖・甘味資源作物を守り、台風など厳しい気象条件を抱える中、奄美群島の農家にとって命綱と言えるさとうきびを持続的に生産していかなければなりません。

さとうきび生産地が自立に向けた取り組みが強化され、本地域の発展につながるためにも、さらなるさとうきび交付金制度の充実・拡充を含めた交付金単価の改定を実施していただきますよう強く要望いたします。

行政視察

環境モデル都市として認定を受けている宮古島市に視察に行ってきました。

宮古島市は、二酸化炭素削減を定め、さまざまな普及啓発、実証事業を行っている先進的な地域です。

視察を通じて感じたことは、宮古島市が環境保護と持続可能な開発に真剣に取り組んでいることです。それは地域の資源や自然環境を活かしながらエネルギーの効率化や再生可能エネルギーの導入を強化し、地域の発展と環境保全を両立させたすばらしいシステムでした。

本町の脱炭素事業に、この宮古島市視察での知識、経験を活かし、島の発展に貢献できるよう努めたいと思います。宮古島市と比べ、本町は人口密度が低く、輸送手段にもコストがかかるため知名町ではどうすることが最適な方法なのかをより審議していく必要があると感じました。



宮古島エネルギー社の前で

ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ事業調査特別委員会
副委員長 福川 勝久

本町が計画している脱炭素事業に対し事業調査特別委員会を設置しました。先進地である宮古島市を視察しこれからの課題・進め方について調査しました。人口規模が10倍の大きな自治体なため、そのまま、すべてが参考とはならないが全国で唯一の成功事例を見る事ができました。

国の補助金のみで新電力会社を設立し町・住民の負担金なしで太陽光で発電し、平常時はもちろん台風等の非常時は蓄電池による停電対策がとれる事がとても大きい。大事なはこの事業が町民の利益になれば意味が無いことです。そのためにも皆様の率直な意見を聞かせて頂きたいのです。知名町の明るく生活しやすい未来の為に本事業を共に考えていきましょう

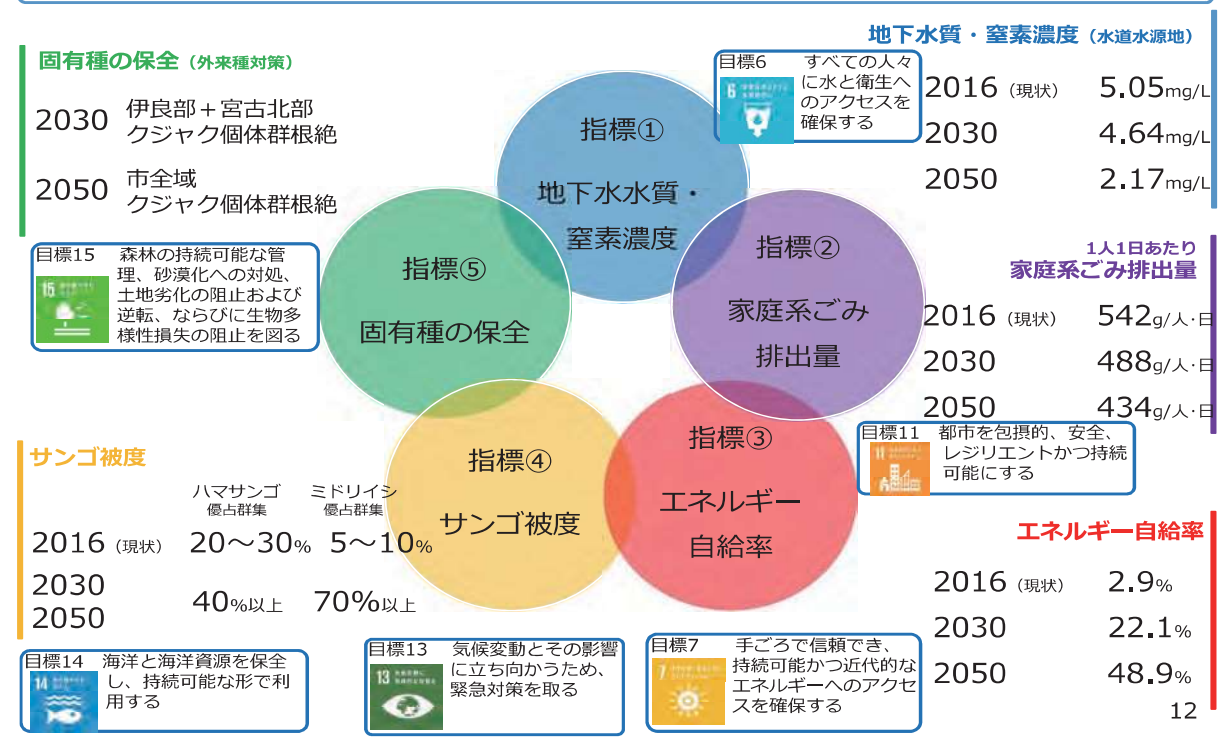


急速充電設備

ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ事業調査特別委員会
委員 城村 誠



～ 千年先の、未来へ。～ エコアイランド宮古島の5つのゴール



「政策サイクル推進地方議会フォーラム」に参加して

議会改革推進会議委員長 外山利章

フォーラムでは、早稲田大学名誉教授の北川正恭氏による「善政競争できる地方議会を目指す」として基調講演があり、これまで行われてきた議会の固定観念から脱却し、新しい価値を創造する議会を目指すべきである。その実現にはシステム構築が必要で、内発的に議会改革を進めていかなければならないと述べられました。

引き続き、議会改革研究の第一人者である大正大学の江藤俊明教授による「政策に強い議会とは」と題し、課題提起の講演が行われました。その中で議会改革は第2ステージを迎えており、形式的な改革でなく、住民福祉の向上に連動することが重要で、「住民自治の根幹としての議会」を作動しなければならない。そのためには住民起点の課題を多様な意見、背景を持つ議員の合議体である議会において熟議し、政策として執行部に提案していく「政策サイクル」を構築する必要があると述べられました。

次に議会改革のトップランナーである福島県会津若松市議会、長野県飯田市議会による事例発表が行われ、政策サイクルをまわすシステムを構築しながらも、さらなる改善、実践にチーム議会として取り組む先進事例が発表されました。

その後、知名町議会の議会改革についての事例報告を以下の内容で行いました。



「はじめの一步 議会評価モデルから始まった議会改革」

知名町議会では令和3年から議会運営の状況を確認する「議会評価モデル」を導入し、議会改革をスタートさせています。議会評価モデルの実施により、日頃の議会活動に対する各議員の認識を把握すると共に、議会全体の状態を「見える化」することができました。

その結果、本議会は①政策課題の明確化②内部資源と外部連携の活用③総合計画・政策成果・決算の連動④政策立案・議案審議への取り組みが不十分であるとの結果が導き出されました。そこで課題解決に向けたオンライン研修会等を行い、基礎理論の習得と演習に努めてきたところです。

昨年4月には継続的な議会改革の推進を図るため「議会改革推進会議」を立ち上げ、議会改革の課題整理と行動計画の策定、進捗状況のチェックなど行っています。

今後は①町民との意見交換を通じて政策課題を抽出し、各常任委員会で調査・検討を行った上で、行政に対し政策提言を行う(政策サイクル)

②議会運営に係る事項(議員報酬・定数、議会運営の改善等)について調査、検討を行う(議会運営改革)。

この2つのプロジェクトを任期の最終となる来年8月を目標に掲げ、議会アドバイザーの協力を得ながら議会改革を進めているところです。

政策サイクルを意識した議会改革が町村レベルでは少ない中、離島にありながらもオンライン等を活用し、このような取り組みを進めることは他議会にとって大変刺激になるだろうとの講演を頂きました。

しかし、まだまだ始めたばかりの議会改革で取り組まなければならない課題は山積しています。今回のフォーラムに参加して得られた知見、見識を今後の議会改革にも取り入れ、町民の付託に応える議会となれるよう全議員一丸となって議会改革を進めて参ります。

令和5年第2回6月定例会

知名町議会第2回定例会は、6月13日から16日までの日程で開催されました。今定例会では9名の議員が登壇し、堆肥センターの新設、教育行政、行財政改革、道路整備、職員の人事考察等、遊休施設、公用車の適正管理、DX推進室の在り方について多くの質問がなされるとともに、町政発展のための活発な議論が交わされました。

報告案件は4件、議案は専決処分事項の承認案件、知名町税条例の一部を改正する条例、令和四年度一般会計や特別会計の補正予算12件を承認。

単独議案では知名町過疎地域持続的発展計画の変更、知名町辺地総合整備計画の変更、知名町国民宿舎条例の一部を改正する条例、知名町フーラル館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例、知名町新庁新築工事（付属棟・外構）を原案可決し、また、令和5年度一般会計補正予算や特別会計補正予算3件を原案可決、知名町農業委員会委員の任命に付き同意9件を同意し、陳情2件を採択しました。

9名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって一般質問が行われました。

6ページから掲載の内容は、各質問者が執筆した主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。（質問順に掲載）

一般質問

外山 利章 議員

- 1 子供たちの健全育成に係る各種支援について
- 2 持続可能な島づくりについて
- 3 担い手の確保について（住宅の確保整備）
- 4 行財政改革について

今井 吉男 議員

- 1 肥料・資材や燃料の高騰で農家経営は悪化
- 2 堆肥センターの新設
- 3 田皆小学校体育館の新築または改修
- 4 通学路の道路改良工事

奥山 雅貴 議員

- 1 知名町全体で特別支援学級は何クラスあるのか
- 2 各児童の特性は
- 3 所得制限による特別児童扶養手当黒貫字ハチマキ線の中山間整備事業
- 4 黒貫字ハチマキ線の中山間整備事業
- 5 サトウキビ、馬鈴薯収穫後の新しい取り組みとして
- 6 有機農業への取り組みは

西 文男 議員

- 1 農業政策について
- 2 土壌診断の結果について
- 3 堆肥センターは必要か
- 4 教育行政について
- 5 福祉政策の充実について

根釜 昭一郎 議員

- 1 公用車の適正管理
- 2 DX推進室の在り方

新山 直樹 議員

- 1 観光施設整備について
- 2 遊休施設について
- 3 道路整備について
- 4 公共下水道について

福川 勝久 議員

- 1 職員の人事考察等について
- 2 電動アシスト自転車について
- 3 人手不足対策について

宗村 勝 議員

- 1 新型コロナウイルス感染症5類移行後は
- 2 マイナナンバーカードの運用でトラブルは
- 3 公共施設等の水回り
- 4 農道の交差点で交通事故

窪田 仁 議員

- 1 農業振興について
- 2 町誌編纂作業について
- 3 文化財振興について
- 4 ドクターヘリについて
- 5 携帯電話について
- 6 道路整備について

西文男議員



農業立町知名町、いのちがやく土づくりについて

動画配信はこちら



町長／有機物の施用や土壌診断に基づいた土壌改良資材の投入及び適正を推奨



ハーベスタ収穫

問 本町の農業形態はさとうきび、輸送野菜、花卉、葉たばこ等の耕種作物に肉用牛を組み合わせた複合経営で展開されているが、化学肥料等の使用により現在畑の地力はどうなっているか伺う。

答 町長 本町の土壌は粘着性の強い暗赤色土が大部分で土壌有機物が乏しく、多雨期には加湿となり、乾燥すると亀裂が生じ干害を受けやすく、作物の生産性を著しく低下させている。過去5年間の土壌診断の結果から推察すると、補肥力は、年々低下している傾向にある。肥料等の高騰により、思うような土づくりの手が回らない状況だと思われるが、有機物の施用や土壌診断に基づいた土壌改良資材の投入及び適正施肥を推奨し、土づくりによる生産性の向上に努めていきたいと思いません。



牛舎

問 (再質問) 過去5年間の土壌診断の結果はどのような結果になったか伺います。

答 農林課長 約400筆から600筆で地力をCEC保肥力H30年は平均15・9で、R4年13・5となっており近年の保肥力はやや低い数値になっている。

問 本町の農作物耕地面積は何ha位か。ほ場等で使用されている肥料で、化学肥料、堆肥類、その他の割合はどうなっているか。化学肥料等の購入量、購入金額はどの位か伺う。

答 町長 面積ベースで試算すると化学肥料95%、堆肥5%になると推計されます。また化学肥料の購入量は、推計では、約2,877tで金額は3億7544万6千円となっています。

問 堆肥の施用で土づくり、そして化学肥料コスト低減等で堆肥センターは必要だと思いが、建設は出来ないか伺う。

答 町長 指摘のとおり、近年の化学肥料高騰により生産者の経営負担が増加しており、地域資源を活用した堆肥生産は、化成肥料に代替する土づくりの手段として有用なものとして認識していません。開発組合堆肥センターにおいて年間約4000tの牛糞堆肥を生産しており、今後、堆肥需要の推移を注視し、必要に応じて検討していきます。



開発組合堆肥センター

いか伺う。

答 教育長 教育要覧には平成12年に鹿児島大学附属小学校との交流体験学習を実施した旨記載があります。当時と比較すると、インターネットを活用した学習環境は飛躍的に向上している。現時点では、児童生徒が敢えて宿泊を伴う学習を実施することが適切か慎重に検討したいと考えています。

問 視覚障がい者等が病院や会合、買い物等の外出時には同行人が必要である。バス等を利用する場合には町の補助は現在どのようになっているか伺う。

答 町長 障がい者手帳の等級により、本町に住所を有している障がい者へ町の施策として申請に基づき、バス無料乗車補助を行っている。

問 障がい者の同行者にもバスの全額補助は出来ないか伺う。

答 保健福祉課長 財源が伴うので、この場で即答は出来ませんが、今年度は障がい福祉計画・障がい児福祉計画の策定年度となっているので、障がい者の意見を聞いて検討したいと思います。

問 体験学習の一環として鹿児島大学付属小、中学校との交流留学の体験の実施は出来ないか伺う。

奥山雅貴議員



枝豆栽培のメリットは

町長／春、秋の2回栽培が可能で所得向上につながる

動画配信は
こちら



問 サトウキビ、馬鈴薯収穫後の新しい取り組みとして枝豆の栽培を推進していましたが、どのような説明で、今年から始める人は何人いるか。

答 町長 Ⅱ 単位当たりの所得向上を目的に、サトウキビや馬鈴薯収穫後に植え替える圃場の有効活用として導入を検討し、推進しているところです。枝豆は年に春作、秋作の2回栽培が可能であり、作期毎に栽培に取り組む方に向けて生産者の募集と、栽培、出荷方法の説明会を実施しており、主に定時放送を活用した周知をしております。春作では14名、前回の秋作では11名の生産者が栽培に取り組んでおります。



枝豆栽培

問 知名町全体で特別支援学級は何クラスあるのか。

答 教育長 Ⅱ 現在知名町には、知的障がい特別支援学級が、小学校4クラス、中学校3クラス計7クラス、自閉症・情

緒障がい特別支援学級が小学校5クラス、中学校2クラス計7クラスの2種類があります。

問 各児童の特性は一人一人違うと思いますが、どのような支援を行っているのか。

答 教育長 Ⅱ 特別支援教育コーナー「ネイター」及び学級担任が保護者と密に連絡をとり、本人がどのように学びたいか、保護者がどのように学ばせたいかを一緒に考え、できるだけ一人一人の希望に沿えるよう支援を行っております。また、児童発達支援事業所とも連携をとり、社会とのつながりを持たせながら意欲を徐々に高めることができますように努めております。

問 新年度を迎え、不登校児童生徒の昨年と今年状況を伺います。

答 教育長 Ⅱ 令和4年度は6人。令和5年度は5月末現在で6人おります。部活動や好きな単元の学習をきっかけに昨年より登校が増えてきている児童もいます。学校職員が一体となり粘り強く温かな目で見守り支援を行っております。

問 所得制限による特別児童扶養手当事業について、町民の声を聞いているのか。

答 町長 Ⅱ 国においては少子化対策として児童手当の所得制限撤廃の動きがあり、町としては国の動向に注視しながら対応についても検討を進めてまいりたいと考えているところです。

問 黒貫字ハチマキ線の中山間整備事業の現在の回り道をそのまま使えるようにできないか。

答 町長 Ⅱ 仮設道路を土地所有者の意向で残す場合は私道となりますので、土地所有者が全ての責任を負うことに了承すれば完成後も使うことは問題ないとのことでした。



中山間整備事業

問 役場職員が業務で町内を往來時、状況の悪い道路に気付くことがあると思いますが状況報告をしているのか。

答 町長 Ⅱ 状況の悪い道路を確認したということで職員から各課へ連絡があります。町道、農道、里道、民有地等の確認をし、担当課において対応しているところであります。

問 有機農業への取り組みはされているか。

答 町長 Ⅱ みどりの食料システム戦略の策定や肥料、農薬価格の高騰が社会問題となっていることから、有機農業への取り組みについても検討をしていく必要があります。



堆肥散布

今井吉男
議員



農家の経費低減対策を！

動画配信は
こちら



町長／有機質資材の活用推進を図る



有機物供給センター

問 肥料・資材や燃料の高騰で農家の経営が悪化している。特に割高な肥料を補完する対策として、牛糞や家庭の生ごみを回収、液肥を堆肥化して活用すべきでは。

答 町長 農家経営のコスト低減を図るために有機質資材の活用を進めていく。

「農業振興なくして
知名町の発展なし」



食品リサイクルセンター

問 堆肥センターの新設はできないか。また農家独自で堆肥施設を建設する際に補助金交付できないか。

答 町長 堆肥センターの新設は、他の有機物処理施設の運用との兼ね合いや地域の堆肥需要を注視し、必要に応じて町内及び両町で検討する。現在、国庫事業で牛舎の増設や堆肥舎の新設及び増設の補助率が9割となっている。



田皆小学校体育館

問 田皆小学校の体育授業や入学式・卒業式等の行事は、これまででは体育館を使用していたが、令和5年度入学式は田皆中学校の「ヤグニャホール」を借用しての開催でしたが、小学校体育館は新築または改築計画があるか伺う。

答 教育長 現在、田皆小学校体育館は、老朽化（築48年）により安全が確保できないことから使用禁止している。また田皆中学校体育館は、田皆小学校と田皆中学校の両校が利用できることを前提に、標準的な体育館よりも広く設計されており、小学校体育館の新築や改築計画はありません。



通学路

問 県道から田皆コミュニティセンター間の道路は通学路になっていますが、道路幅が3・5mと狭い上に歩道もなく、車両の通行が多い道路で児童・生徒の通学時に大変危険な状況であり、安全対策として、道路改良工事を早期に実行できないか伺う。

答 町長 県道から田皆コミュニティセンターにかけての道路は指摘の通り道路幅も狭く、歩道もない状況にありますが、道路改良工事を実施するには、地権者の協力はもちろんですが、用地補償費、工事費等に多額の費用が必要になる。

外山利章
議員



ふるさとまちづくり基金で子供たちの スポーツ、文化活動の支援を！

町長／子供たちの努力を認め、励まして いく観点から検討したい

動画配信は
こちら



様々な支援を通して未来ある子供たちの活躍を応援

子供たちの健全育成に
係る各種支援について

問 ふるさと納税が原資のふるさとまちづくり基金の事業決定はどのように行われているか。

答 生涯学習課長 各団体から要望がありましたら、課内で検討し予算要求しています。

問 子供たちの健全育成に係る各種団体は遠征費、道具購入など活動費の捻出に苦慮している。ふるさとまちづくり基金の存在を伝えた上で各団体から要望を取るべきではないか。

答 生涯学習課長 総会、説明会等を通じてふるさとまちづくり基金について説明したいと思えます。

問 未来を担う人材育成を指定して寄付された基金だからこそ、子供たちの健全育成に取り組むスポーツ、文化団体の支援に回すべきではないか。

答 教育長 子供たちの努力を認め励ましていくという観点から検討したいと思えます。



答 保健福祉課長 現在、再資源化できているのは四種類なので、更なる再資源化に向け、協議していかなければならないと考えています。

問 行政、町民が一緒になって廃棄物の資源化に向け考える協議の場を作るべきではないか。

答 保健福祉課 両町、クリーンセンター、町民、事業所などを交え、協議する場を設けていきたいと思えます。

問 クリーンセンターの負担金の協議で、両町で合意が得られていない。出したごみの量で負担金を按分する本町の考えが妥当で、そのことがゴミ削減に繋がっていくと考える。まずは町の施策として取り組みを進めていくべきではないか。

答 町長 ゴミを削減することで負担が減少し、その予算を町民福祉に繋げていきたいと考えています。まちづくり町民会議の場で検討していきたい。

持続可能な島づくり

問 廃棄物の資源化にむけまず、ゴミ分別の徹底が重要だと考えるが、早急に進めるべきではないか。

担い手確保について (住居の確保、整備)

問 不動産の知識や借り手の情報を持った中間支援組織の活用も考えるべきでは。

答 企画振興課長 一般社団法人ツギノバと連携し、空き家調査、移住相談など一元して対応できるように進めていきたいと考えています。

問 一定の家具、家電が揃った住居があれば、担い手の受け入れが進むと思うが。

答 企画振興課長 そのような要望も把握していますので、財政と相談しながら進めていきたいと思っております。

行財政改革について

問 令和4年度中に行財政改革大綱の実施計画を策定と答弁されているが、いまだなされていない。いつまでに提出が可能か。

答 副町長 今年中には公開できる予定ですので、今しばらくお待ちいただきたい。

*大型事業が進んでいる中、将来的な財政負担が懸念される。行政運営を効率化、最適化し、町民と共に作る町を目指す上でも行財政改革を成し遂げ必要がある。早期に実施計画を策定し、着実に行財政改革を遂行することを強く要望する。

動画配信は
こちら↓



窪田 仁 議員



肥料価格高騰対策は

町長／肥料価格高騰対策補助金は6月中に交付する

問 肥料・資料・燃料の高騰対策事業で効果が感じられませんが対策の成果について伺います。

答 町長 肥料価格対策は国の価格高騰対策事業に上乗せする形で、2月末現在の支援額は、国が4千877万4837円、町は県と同額で104万5708円の6月中に交付される見込みです。畜産は、対象期間中に出荷した子牛一頭当たり2万円を給付し、総額1千558万円の支給。さとうきびは、収穫期間内の単価の上昇差額分の給油量に348万138円を交付。農業経営の影響緩和に寄与できたと考えます。

問 農業振興について。
①花卉の販売は、平成11年度約19億円から令和3年度約4・5億円と約4/1となり20年間も下がり続けています。農家の所得向上を図る、儲かる花卉振興について伺います。

答 町長 花卉農家の所得が向上し生産に魅力が上がれば生産額も回復が期待できます。町としては各種の補助事業等を活用した支援を行い花卉の振興に務めて参ります。

問 町誌編纂作業について。知名町誌編纂作業の進捗状況と人選はどうか。

答 教育長 令和5年3月10日に編纂委員長から町長へ答申、今後は、答申に即して作業を進めて参ります。人選は、課長補佐級1名と学芸員1名を配置しており、今後、会計年度任用職員を追加配置して体制を整えて参ります。

問 文化財振興について。
①文化財地域振興計画書の作成・進捗について伺います。

答 教育長 大きなプロジェクトに取組んでいるところで、作成等の着手時期は未定です。

問 国指定に向けたトゥール墓群の進捗状況について。

答 教育長 新城花窪ニヤート墓、アーニマガヤトゥール墓、屋子母セージマ古墳は調査を終え、整理作業を進めている。屋敷琉球式墳墓の石垣及び地形測量を実施し、今後はロードマップに示した国指定の目標のもと、重要なプロジェクトとして進めてまいります。

問 トゥール墓群の崩落が進んでいます。現状修復をどのようにするのか。

答 教育長 国指定後に国の補助事業を活用し、専門家の指導助言等をいただきながら復元に取組んで参ります。

問 ①ドクターヘリの緊急搬送について。患者やその家族の意思を尊重して沖繩の医療機関へ搬送できるような柔軟な対応は可能かどうか。

答 町長 昨年6月に鹿児島県と沖繩県が医療用ヘリコプターを鹿児島県域においても運航できる協定を締結しました。運行対象地域として、徳之島、沖永良部島、与論町の6町が明記され、このうち与論町以外の5町は、条件付で奄美ドクターヘリが出勤中やヘリの不具合、天候不良により使用できないときに限るとされている。与論島については、沖繩県との距離が近いことから、沖繩県に要請することが可能とされている。

問 携帯電話について。

5Gやデジタル化の推進の中にハチマキ線から自衛隊基地手前まで携帯の電波が届きません。この区間の緊急時の対応に電波塔の設置要望はできないか。

答 町長 電波改善要望は、どの業者も繋がらない不感地帯の要望が可能なため、場所を確定して県へ要望して参ります。

問 防犯灯のLED化について。CO₂の削減につながりまた各字の経費削減にもつながります。早期に設置はできないか。

答 町長 LEDの交換は、世帯数の少ない字から順次進めていくと区長会と協議し、今年度から予算を倍増して行い、来年度以降は、地方債の活用でよりスピード感で事業を進めます。

問 道路整備について。

上城校区と田皆校区の要望から町道知名東循環線(上城小学校近く)での事故が多発しています。道路の凹みと見通しの悪いカーブがありとても危険です。拡張工事と道路補修はできないか伺います。

答 町長 カーブ区間には隣接地との高低差があり多額の費用と拡張工事での車両のスピードが上がり危険性が増す可能性があります。ことから区長と現地立会いで対策を検討します。



町道東循環線(上城小学校)

宗村 勝 議員



肥料や農業資材の高騰により 農家経営がひっ迫

動画配信はこちら



町長／地域資源を活用した堆肥生産を図る

問 肥料や農業資材の高騰により農家経営がひっ迫しております。そのような中、減化学肥料から有機肥料への転換が推奨されております。老朽化した沖永良部農業開発組合の施設改修をして堆肥の安定供給ができないか、また農家独自に堆肥場施設の建設をする際の補助事業を導入して農家経営の手助けができないか。

答 町長 農業資材の価格高騰により生産者の経営負担は増加しており、農業肥料等の費用低減が課題となっております。地域資源を活用した堆肥生産、利用の推進は化学肥料価格高騰に対し緩衝的な役割を有し、併せて地域の地方向上に資するものと認識しております。沖永良部農業開発組合における堆肥の生産体制におきましては、島内における堆肥需要、地域資源の総量等を注視し、必要に応じて関係機関と検討していきたいと考えております。農家独自で堆肥場建設は組合組織により可能であります。

問 マイナンバーカードの運用でトラブルが相ついでいると報道されていますが、本町での運用は大丈夫か。またトラブル防止策を実施しているのか。

答 町長 マイナンバーカードの運用でのトラブルについては、公金受け取り口座の誤登録やマイナポイントの紐付け誤り、健康保険証の紐付け誤り、コンビニ交付サービスの誤交付があった旨の通知が国・県からありましたが、本町において現在のところ、そういったトラブルの報告はありません。

マイナンバーカードでできること

- ・身分証明書として利用
- ・オンラインでの行政手続き
- ・健康保険証として利用

※2024年秋からマイナ保険証に一本化

マイナンバーカード作成の流れ

顔写真を用意し
スマホ等から申請

約1カ月

役所へ
取りに行く

問 公共施設等の水回りの施設が機能していないところがか所見受けられます。町民はももちろん観光客等も利用する施設であります。早期に改修して気持ちよく利用できるよ

答 町長 トイレ等の点検は企画振興課の職員が定期的に点検や清掃を行い不具合が確認されれば、その都度事業者に修理依頼等しております。復旧に時間を要することもございますが、町民や観光客等に快適に使用いただけるような維持管理をまいります。

問 黒賞集落の海岸よりの農道の交差点で交通事故が頻発しております。運転者への事故防止策が徹底されていないように感じられます。事故防止の徹底した方策を考えるべきではないか。

答 町長 指摘の農道で5月24日に交通事故が発生しました。担当課にて現場確認しその日の午後安全対策検討会を開催し、翌25日の区長会にて「どちらも優先道路ではないので交差点では徐行が必要」という旨を字集会で周知するようお願いしました。沖永良部警察署、総務課、建設課、耕地課、関係区長参加の下、安全対策検討会を開催し、出された意見を基に今後対策を行って参ります。



農道の事故多発看板

問 新型コロナウイルス感染症は5類移行後は5類感染症と呼ばれるそうですが、5類移行後も町内・島内で感染者数が増えているように感じられます。感染策等を徹底すべきではないか。

答 町長 5類移行後は国の決定に基づき本町でも感染症施策の変更を行っております。感染症、ウイルスは目に見えません。まずは個人個人が生活の中で感染予防を行うことが何よりも重要となります。感染症をなくすことは不可能ですが、感染しないことは自助努力でできると言われております。町民の皆様おひとりおひとりが感染予防として、日常生活の中でできること、心掛けることを今後も継続してほしいと願います。

動画配信は
こちら↓



電動アシスト自転車の購入補助



福川勝久議員

町長／今後関係する課と協議を進めながら 検討をする

問 自動車使用を抑制し温室効果ガスの排出の削減を図るため、電動アシスト自転車の購入補助金をしてみてもいいでしょうか。

答 町長は今後関係する課と協議を進めながら検討を行っていきたくと考えています。現在、電動アシスト自転車へ乗り換えるニーズ調査（移動距離、脱炭素への意識醸成、購入助成希望額、活用できる財源の有無、購入できる店舗や修理事業者）を含め、実現可能性調査を行います。



電動アシスト自転車

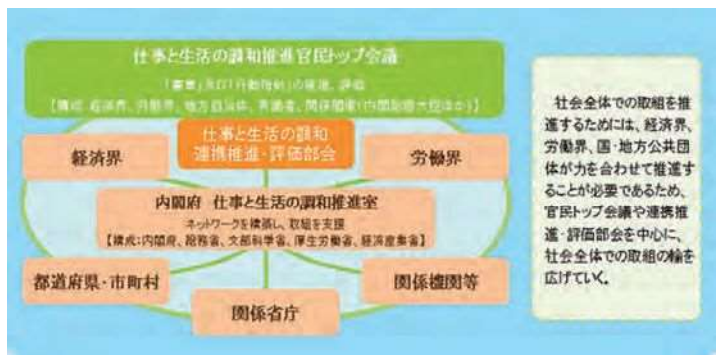
問 人事異動の際に職員から希望を取られていると思いますが、希望に沿って配属されているのかを伺います。

答 町長は人事異動の基本的な考え方ですが、人事異動は、職員の適正配置を図り、気風

を刷新して、どの課においても、その課の業務の充実とよりよい効果があるように、すなわち「組織目標の達成」や「人材育成」「組織の活性化」を目的に行われるものであり、役場機能充実の必要性から町長の責任において行うものです。特に、人事異動を進めるに当たっては、「自分が行かなくても、他の人が行くだろう」とか、「他の人に行ってもらいたい。」などという一方的な態度は許されないといいかと思えます。最終的な職員の配置については、各課における必要な職員数や役職ごとの人数など様々な要素を総合的に勘案し配属しております。

問 職員のワークライフバランスの促進や、ストレス管理に取り組んでいますか。職員の働きやすい環境づくりや福利厚生生の改善について伺います。

答 町長はワークライフバランスの促進、職員の働きやすい環境づくりについては、アンケート調査を行い、職員の約8割が賛成であったことから、今後は時差出勤を試験的に導入する方向で検討中です。福利厚生生の改善については、令和4年度に職員互助会の各種給付金の増額等を行っております。



ワークライフバランス

問 本町での昇進制度については、昇進の条件やプロセスは職員に理解されていますか。

答 町長は昇進制度については、初任給・昇格・昇給等の基準に関する規則で定めております。具体的には、大卒で採用された職員が係長の4級へ昇格する期間が11年、短大卒は13〜15年、高卒者が16年となっているほか、課長補佐、課長への昇格については職員配置の状況や職員の能力、希望等を勘案したうえで行っております。

問 タクシー会社はコロナ禍前に比べてドライバーが少なくない、利用者も困っています。このままでは経営自体厳しい状況ですので、町としてサポートはできないのか伺います。

答 町長はタクシードライバーの人材不足についてでありませんが、新聞報道によりますと奄美大島でも運転手の高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少、ガソリン価格の高騰で業界を取り巻く環境は深刻であります。コロナ禍から脱し、来島者への対応や高齢者の免許証自主返納への対応など、公共交通機関としてのタクシーの役割は重要なものになると認識しておりますので、関係機関との協議を含め支援の在り方について検討します。



知名町内タクシー

新山直樹議員



昇竜洞等の整備計画は

町長／今年度事業採択に向けて準備を進めています

動画配信はこちら



問 昇竜洞等の整備計画はどうなっているのか。

答 町長 今年度事業採択に向けて準備しています。事業内容は昇竜洞の入口周辺の園地整備をメインに田皆岬、住吉暗川、屋子母海岸、ウジジ浜等のサイクルステーションを兼ねた屋根付きの旧経緯施設の設置を計画しており、また奄振事業も活用し、入口、出口付近のWiFi環境整備、洞内の手すり、照明等の更新も実施予定です。体験型観光だけでなく、コワーキングスペースとしての活用も計画しており、島内の方も気軽に来られるような環境を整え、新規観光客層を取り込み、稼げる知名町を目指して参ります。

問 観光案内板が劣化などで破損しているが、新たに案内板の設置はできないか。

答 町長 奄美群島成長戦略推進交付金事業として予算化をし、現在両町で協議し、統一したデザインで調整を行い設計業務の発注に向けた準備を進めています。新たに整備する道標は多言語化やQRコードを搭載し、位置情報や観光情報の取得を可能とすることを想定しています。

問 旧老人ホーム長寿園の活用方法は。

答 町長 建築から50年が経過しており、老朽化が激しく、内部の爆裂も見られ、改築に多額の費用を要するため、再利用が厳しい状況であります。他の施設・財産も含めて今後の活用方法を検討してまいります。



旧老人ホーム「長寿園」

問 奄振住宅（瀬利覚）の活用方法は。

答 町長 昭和43年に建築され、55年が経過しており、継

続して供給するためには大規模な修繕が必要であり、空き家となっております。「知名町公営住宅長寿命化計画」において、「入居者の退去等を待つて用途廃止」となっていることから行政財産から普通財産とし、所管替えを行い、今後の活用方法を検討してまいります。

問 庁舎移転に伴い遊休施設になる施設は幾つあるか、また活用方法は。

答 町長 役場本庁舎、別館、議会棟、保健センター、包括支援センターが遊休施設となります。本庁舎については、築60年となっており、老朽化が激しいことから、別館、議会棟は廃止（取り壊し）の方向で考えています。

保健センター、包括支援センターについては今後の活用方法を決め、改修による長寿命化、廃止のいずれかを行います。また、庁舎の跡地利用については、町民会議で協議する予定となっております。多方面から意見を取り入れて検討を進めてまいります。

問 道路整備、補修について協議や検討、優先順位はどうか。

答 町長 新規塗装、道路拡幅等に伴う要望、地元の合意形成が必要なものについては、区長からの要望書を提出していただくこととしています。新規塗装については、数値評価を行い優先度を決定し、ほかの整備要望については評価基準を作成中であります。

問 知名C団地上下字路まで新たに側溝整備はできないか。

答 町長 知名C団地のT字路までの区間は流域面積に含まれておらず、C団地の側溝に流入させた場合、下流域に影響が出る可能性があります。字区長から要望書を提出していただき、地元の意向を確認し対応を検討したいと考えております。

問 知名生活館から知名C団地上の区間に公共下水道本管敷設工事はできないか。

答 町長 令和4年1月に知名区長より要望書も提出されましたが、当該地域は事業計画区域外であり、延伸工事を行うとすると多額の費用がかかる見込みです、厳しい運営状況に加え、施設の老朽化による更新工事が見込まれることから、補助事業を活用した合併処理浄化槽の設置で対応することとしております。

根釜昭一郎議員



DXの推進を！

町長／事業者の生産性の向上や地域経済の活性化に向けた活用支援を検討

動画配信はこちら



「DX推進室の在り方」

問 ①作業内容は？

答 町長 本町では、令和5年3月に「知名町DX推進計画」を策定し、知名町におけるDXの推進を行っております。基本方針として、①町民誰もが直接利便性を実感できる「町民DXの推進」、②地域の様々な課題解決と活性化に繋がる「地域DXの推進」、③デジタル技術を活用して、業務の効率化、高度化を図り、それによって得られた人的資源を行政サービスの向上に繋げるための「行政DXの推進」を掲げ、その具体的な取り組みとして12の事項を挙げております。その中でこれまで、業務のペーパーレス化に向けた行政内部での電子決済の導入やRPAの利用検討、テレワークを行える環境の構築、オープンデータの活用に向けた環境構築のほか、町民向けのスマホ講座の開催などを行ってまいりました。今年度は、行政内部では、業務のペーパーレス化の更なる推進に向けたペーパーレス会議システム及び会議用端末の導入や電子契約サービスの利用に向けた実証実験を行うほか、AI・RPA等ICTの活用を前提に業務プ

ロセスを抜本的に再設計するための、全庁的な業務の棚卸及び業務プロセスの見える化を行ってまいります。また、町民向けには、行政手続きのオンライン化に向けた環境構築やスマホ講座の開催などを行ってまいります。

問 ③実行計画の策定は。

答 町長 現段階では、実行計画ではなく、デジタル技術の発展や時代に合ったニーズに対応できる体制作りを行いたい。



問 chatGPTの活用は検討しているか。

答 町長 本町としては、国際的な議論の動向を見極めつつ生成AIに関する業務利用への可能性について積極的な検討を行いたい。

問 ⑤島内事業者向けDX推進講習会等の開催を。

答 町長 地域社会におけるデジタル化を実現するには、町内や島内事業所におけるDXの推進も欠かせない。民間事業者向けデジタル技術には、多種多様なものがあることから、他の自治体の事例を参考にするとともに、商工推進専門職の地域活性化企業人の知見も活かしながら、事業者の生産性の向上や地域経済の活性化に向けたデジタル活用支援についても検討してまいります。

「公用車の適正管理

問 ①公用車の台数は？

答 町長 本年4月1日現在で、自動車損害共済委託契約が有効な公用車は73台。消防車等の特殊車両を除く、各課で普段の業務で使用している公用車は33台。うち、町費購入8台・リース14台、補助事業等購入5台・リース6台。

問 ②年間経費は？

答 町長 車検手数料約220万9千円、自賠責保険料約19万3千円、自動車重量税約25万7千円、燃料費約29万1千円、修繕費約128万5千円となっている。

(令和4年度概算で、車検手数料等はリース料を含む場合

もある)

問 ③運行管理はどの部署か。

答 総務課長 各課での管理としている。新庁舎移転の際には、一元管理はもとより、スマホで運行状況が確認出来る方法等も検討している。

問 ④運行日誌の記載内容はどのようになっているか。

答 総務課長 概ね、日付、運転者、目的地、運行距離等で統一されている。

問 ⑤今後の保有台数計画はどのようになっているか。

答 町長 令和4年度及び5年度において、公用車の効率的利用最適化調査業務を実施し、公用車の適正な台数及びEV車への切り替えを計画しています。



公用車

令和5年 第2回知名町議会定例会議決結果

議案番号	付 議 件 名	議決結果
報告第1号	令和4年度知名町一般会計繰越明許費繰越計算書について	
報告第2号	令和4年度知名町下水道事業会計明許費繰越計算書について	
報告第3号	令和4年度知名町下水道事業会計予算繰越計算書について	
報告第4号	令和4年度知名町下水道事業会計事故繰越計算書について	
承認第1号	知名町税条例の一部を改正する条例について	承認
承認第2号	令和4年度知名町一般会計補正予算（第7号）	承認
承認第3号	令和4年度知名町一般会計補正予算（第8号）	承認
承認第4号	令和4年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	承認
承認第5号	令和4年度知名町介護保険特別会計補正予算（第4号）	承認
承認第6号	令和4年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	承認
承認第7号	令和4年度知名町奨学資金特別会計補正予算（第2号）	承認
承認第8号	令和4年度知名町下水道事業特別会計補正予算（第4号）	承認
承認第9号	令和4年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	承認
承認第10号	令和4年度知名町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第4号）	承認
承認第11号	令和4年度知名町土地改良事業換地清算特別会計補正予算（第1号）	承認
承認第12号	令和5年度知名町一般会計補正予算（第1号）	承認
議案第35号	知名町過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
議案第36号	知名辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第37号	令和5年度知名町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第38号	令和5年度知名町下水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第39号	令和5年度知名町下水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第40号	知名町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第41号	知名町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第42号	知名町国民宿舎条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第43号	知名町フローラル館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第44号	財産（新庁舎備品購入業務1工区）の取得について	原案可決
議案第45号	財産（新庁舎備品購入業務2工区）の取得について	原案可決
議案第46号	財産（新庁舎備品購入業務3工区）の取得について	原案可決
議案第47号	工事請負契約の締結について（令和5年度 知名町新庁舎新築工事（付属棟・外構））	原案可決
同意第2号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて	同意
同意第3号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて	同意
同意第4号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて	同意
同意第5号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて	同意
同意第6号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて	同意
同意第7号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて	同意
同意第8号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて	同意
同意第9号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて	同意
同意第10号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて	同意
陳情第5号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採 択
陳情第6号	義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採 択
発委第1号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書	原案可決
発委第2号	義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書	原案可決
発議第4号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書について	原案可決
発議第5号	議員派遣の件	決 定
決定第6号	閉会中の継続調査の件について	決 定
決定第7号	閉会中の継続調査の件について	決 定

3月

8日	第1回定例会
9日	第1回定例会
10日	第1回定例会
13日	中学校卒業式
14日	令和4年度知名町子ども・子育て会議
16日	議会改革推進会議
20日	例月監査 広域事務組合第2回定例会 第1回沖永良部衛生管理組合議会定例会及び議会懇談会 第4回沖永良部クリーンセンターの施設整備方針等検討委員会 令和5年第1回沖永良部バス企業団議会定例会 土地改良事業関係機関の送別会 沖永良部地域公共交通活性化協議会 小学校卒業式 知名町コミュニティづくり推進協議会 役員会 沖永良部鳥獣被害防止対策広域協議会

4月

4日	第1回理事会
6日	小学校入学式
7日	中学校入学式
12日	沖永良部高校入学式
13日	全員協議会
18日	農業改良普及事業協議会総会の監査
21日	例月監査
22日	議長・事務局長合同会
23日	令和5年度公民館講座開講式
25日	令和5年度公民館講座開講式 沖泊海浜公園ボランティア清掃作業 国営沖永良部土地改良事業促進協議会監査

4月

25日	知名町コミュニティづくり推進協議会総会
27日	令和5年度沖永良部地区防犯協会理事会
28日	県市町村連携会議(WEB) 老人クラブ連合会総会

5月

1日	第3回知名町認定こども園在り方検討委員会
9日	日本復帰70周年記念「復帰の歌」歌碑建立実行委員会第3回打ち合わせ
11日	第64回奄美群島市町村議会議員大会
15日	議長研修会 臨時総会
16日	知名町テレワークオフィス開所式
17日	例月監査
18日	議員研修会
19日	宮古島市 行政視察
20日	宮古島市 行政視察
23日	宮古島市 行政視察
26日	おきのえらぶ島観光協会総会
27日	奄美ティダ委員会 意見交換会

6月

5日	令和5年度知名町商工会通常総会
6日	奄美群島広域事務組合臨時議会
26日	奄美群島大島紬振興対策協議会
27日	奄美群島地域産業振興基金協会評議員会
28日	知名町地産地消推進協議会総会
29日	国営沖永良部土地改良事業促進協議会総会
30日	政策サイクル推進地方議会フォーラム
31日	沖永良部地区農業改良普及事業協議会総会
1日	園芸振興協議会沖永良部支部総会
2日	議会運営委員会
3日	提案議案説明会
4日	全員協議会
5日	議会改革推進会議
6日	沖永良部地区防犯協会
7日	第1回知名町図書館協議会・読書活動推進協議会
8日	例月監査
9日	第2回定例会

編集後記

盛夏の候、町民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、議員活動にご理解とご協力を賜り、議員一同、感謝申し上げます。今回の議会だよりが発行される頃には梅雨も明け、いよいよ夏本番になりますが、昨今の異常気象で農家の皆様におかれましては、物価高騰のみならず作物の育成等にも苦慮されていることと案じています。

さて、6月議会定例会では、9名の議員が一般質問に登壇し、町政全般に対して質問し、より良い知名町にすべく、活発な質疑・応答がありました。昨今の目まぐるしい社会情

勢・社会環境の変化に伴い、本町議会は県内市町村でも他に類を見ないほど、多くの議員が一般質問を行っています。この数年来、町民生活は厳しさを増すばかりですが、私達議員の声で少しでも改善していければとの思いで、議員活動に取り組んでいるところです。

今後も、「より良い知名町・より良い未来」を、町民の皆様と共に創造して行けたらと思いますので、お気軽にお声掛けください。最後になりましたが、これから夏本番となりますので、ご自愛ください。

議会広報委員 根釜昭一郎